

第 440 回

問題 1 多項式  $(x^2+x+1)^{n+1}$  を展開したときの  $x^3$  の係数を  $P_n$  とする。

次の極限值を求めよ。

$$(1) \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n^4} \sum_{k=1}^n P_k \quad (2) \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{P_k}$$

解答

(1) 多項式  $(x^2+x+1)^{n+1}$  を展開したときの一般項は、 $p, q, r$  を非負整数として、

$$\frac{(n+1)!}{p!q!r!} (x^2)^p x^q 1^r = \frac{(n+1)!}{p!q!r!} x^{2p+q} \quad (p+q+r=n+1) \text{ と表される。}$$

$2p+q=3$  とおくと、 $(p, q, r) = (0, 3, n-2), (1, 1, n-1)$  であるから、

$$P_n = \frac{(n+1)!}{0!3!(n-2)!} + \frac{(n+1)!}{1!1!(n-1)!} = \frac{1}{6}n(n+1)(n+5) \text{ より、}$$

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n P_k &= \frac{1}{6} \sum_{k=1}^n k^3 + \sum_{k=1}^n k^2 + \frac{5}{6} \sum_{k=1}^n k = \frac{1}{6} \cdot \frac{1}{4} n^2(n+1)^2 + \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) + \frac{5}{6} \cdot \frac{1}{2} n(n+1) \\ &= \frac{1}{24} n(n+1)(n+2)(n+7) \end{aligned}$$

$$\text{よって、} \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n^4} \sum_{k=1}^n P_k = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n^4} \cdot \frac{1}{24} n(n+1)(n+2)(n+7) = \frac{1}{24} \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n}\right) \left(1 + \frac{2}{n}\right) \left(1 + \frac{7}{n}\right) = \frac{1}{24} \quad \text{答}$$

$$(2) \frac{1}{P_k} = \frac{6}{k(k+1)(k+5)} = \frac{6}{5k} - \frac{3}{2(k+1)} + \frac{3}{10(n+5)} = \frac{6}{5} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1}\right) - \frac{3}{10} \left(\frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+5}\right) \text{ より、}$$

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{P_k} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{6}{5} \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{n+1}\right) - \frac{3}{10} \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} - \frac{1}{n+2} - \frac{1}{n+3} - \frac{1}{n+4} - \frac{1}{n+5}\right) \right\} \\ &= \frac{6}{5} - \frac{3}{10} \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5}\right) = \frac{163}{200} \quad \text{答} \end{aligned}$$

$$\text{補足} \quad \sum_{k=1}^n \frac{1}{P_k} = \frac{n(163n^4 + 2445n^3 + 13215n^2 + 30675n + 25462)}{200(n+1)(n+2)(n+3)(n+4)(n+5)}$$

問題 2 (防衛医科大学校の類題)

$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sqrt[n]{\frac{(3n)!}{(2n)!}}$  の値を求めよ。

$$\text{解答} \quad x = \frac{1}{n} \sqrt[n]{\frac{(3n)!}{(2n)!}} = \sqrt[n]{\frac{(2n+1)(2n+2)\cdots(2n+n)}{n^n}} = \sqrt[n]{\left(2 + \frac{1}{n}\right)\left(2 + \frac{2}{n}\right)\cdots\left(2 + \frac{n}{n}\right)} \text{ とおく。}$$

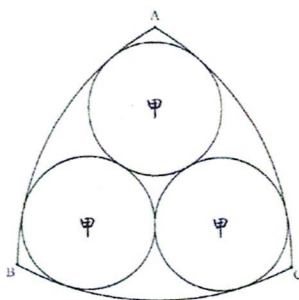
$$\text{両辺の自然対数をとると、} \log x = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \log\left(2 + \frac{k}{n}\right)$$

$$\text{よって、} \lim_{n \rightarrow \infty} \log x = \int_0^1 \log(2+x) dx = [(2+x)\log(2+x)]_0^1 - \int_0^1 (2+x) \cdot \frac{1}{2+x} dx = 3\log 3 - 2\log 2 - 1 \text{ より、}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} x = e^{3\log 3 - 2\log 2 - 1} = \frac{27}{4e} \quad \text{答}$$

追加問題1

A, B, Cは1辺の長さが1の正三角形の頂点で、  
 弧 BC, 弧 CA, 弧 ABは半径1の円弧である。  
 弧 BC, 弧 CA, 弧 ABで囲まれた図形の中に  
 互いに接する甲円3個を内接させる。  
 甲円の半径を求めよ。



【解答】 左下側の甲円を  $O_1(r_1)$  とおき、図のように記号を付ける。

$\triangle ABD$  について、 $AB=1$ ,  $\angle ABD=60^\circ$  より、 $AD=\frac{\sqrt{3}}{2}$

$\triangle AO_1F$  について、 $AO_1=1-r_1$ ,  $O_1F=r_1$  であるから、

三平方の定理により、 $AF=\sqrt{(1-r_1)^2-r_1^2}=\sqrt{1-2r_1}$

$\triangle O_1EC$  について、

$O_1E=AD-AF=\frac{\sqrt{3}}{2}-\sqrt{1-2r_1}$ ,  $EC=r_1+\frac{1}{2}$ ,  $CO_1=1-r_1$

であるから、

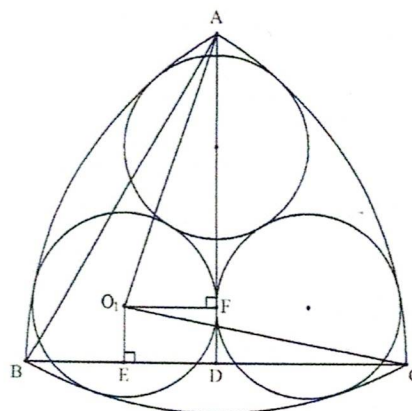
三平方の定理により、 $\left(\frac{\sqrt{3}}{2}-\sqrt{1-2r_1}\right)^2+\left(r_1+\frac{1}{2}\right)^2=(1-r_1)^2$

展開して移項すると、 $1+r_1=\sqrt{3}\sqrt{1-2r_1}$

両辺を2乗して整理すると、 $r_1^2+8r_1-2=0$   $r_1=-4\pm 3\sqrt{2}$

$r_1>0$  より、 $r_1=-4+3\sqrt{2}$  ( $\approx 0.242641$ )

よって、甲円の半径は、 $-4+3\sqrt{2}$  答



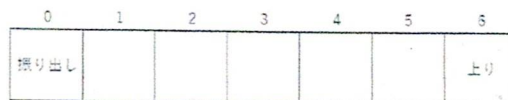
追加問題2

6マス目が上りのすごろくがある。

サイコロを振って、出た目の数だけ進む。

上りを越える数が出たら上りに到達とする。

上りに達するまでにサイコロを振る回数の期待値を求めよ。



【解答】 残り  $n$  マスのときの上りまでの回数の期待値を  $E_n$  とおく。

残り1マス(次のマスが上り)のときは、次は必ず上りとなるから、 $E_1=1$

残り2マスのときは、サイコロの目が  $\frac{1}{6}$  の確率で1が出て、 $\frac{5}{6}$  の確率で2以上の目が出る。

目が1のときは、その1振り+ $E_1$ が必要で、目が2以上のときはその1振りで上りとなる。

従って、 $E_2=\frac{1}{6}(1+E_1)+\frac{5}{6}\cdot 1=1+\frac{1}{6}E_1=\frac{7}{6}$

以下同様に、

$$E_3 = \frac{1}{6}(1 + E_2) + \frac{1}{6}(1 + E_1) + \frac{4}{6} \cdot 1 = 1 + \frac{1}{6}(E_1 + E_2) = \frac{7^2}{6^2}$$

$$E_4 = 1 + \frac{1}{6}(E_1 + E_2 + E_3) = \frac{7^3}{6^3}$$

$$E_5 = 1 + \frac{1}{6}(E_1 + E_2 + E_3 + E_4) = \frac{7^4}{6^4}$$

$$E_6 = 1 + \frac{1}{6}(E_1 + E_2 + E_3 + E_4 + E_5) = \frac{7^5}{6^5} (\approx 2.16) \quad \square$$

〔別解〕  $n$  回目に上りになる確率を  $p_n$  とおくと、求める期待値  $E$  は、 $E = p_1 + 2p_2 + 3p_3 + 4p_4 + 5p_5 + 6p_6$   
サイコロの目を  $a, b, c, \dots$  で表す。

(1回目で上り) 6の目が出たときであるから、 $p_1 = \frac{1}{6}$

(2回目で上り) 1回目  $a$ , 2回目  $b$  とすると、 $1 \leq a \leq 5$ ,  $a + b \geq 6$  となる  $(a, b)$  の組は、  
 $a=1$  のとき、2通り、 $a=2$  のとき、3通り、 $a=3$  のとき、4通り、 $a=4$  のとき、5通り、 $a=5$  のとき、6通り  
であるから、 $2+3+4+5+6=20$  通り。  $\therefore p_2 = \frac{20}{6^2}$

(3回目で上り) 1回目  $a$ , 2回目  $b$ , 3回目  $c$  とすると、 $1 \leq a + b \leq 5$ ,  $a + b + c \geq 6$  となる  $(a, b, c)$  の組は、  
 $a, b$  の目  $\{1, 1\}$  のとき、 $c \geq 4$  より、3通り  
 $a, b$  の目  $\{1, 2\}$  のとき、 $c \geq 3$  より、4通り  $\therefore 2! \times 4 = 8$  通り  
 $a, b$  の目  $\{1, 3\}$  のとき、 $c \geq 2$  より、5通り  $\therefore 2! \times 5 = 10$  通り  
 $a, b$  の目  $\{2, 2\}$  のとき、 $c \geq 2$  より、5通り  
 $a, b$  の目  $\{1, 4\}$  のとき、 $c \geq 1$  より、6通り  $\therefore 2! \times 6 = 12$  通り  
 $a, b$  の目  $\{2, 3\}$  のとき、 $c \geq 1$  より、6通り  $\therefore 2! \times 6 = 12$  通り  
であるから、 $3+8+10+5+12+12=50$  通り。  $\therefore p_3 = \frac{50}{6^3}$

(4回目で上り) 1回目  $a$ , 2回目  $b$ , 3回目  $c$ , 4回目  $d$  とすると、 $1 \leq a + b + c \leq 5$ ,  $a + b + c + d \geq 6$  となる  
 $(a, b, c, d)$  の組は、  
 $a, b, c$  の目  $\{1, 1, 1\}$  のとき、 $d \geq 3$  より、4通り  
 $a, b, c$  の目  $\{1, 1, 2\}$  のとき、 $d \geq 2$  より、5通り  $\therefore 3 \times 5 = 15$  通り  
 $a, b, c$  の目  $\{1, 1, 3\}$  のとき、 $d \geq 1$  より、6通り  $\therefore 3 \times 6 = 18$  通り  
 $a, b, c$  の目  $\{1, 2, 2\}$  のとき、 $d \geq 1$  より、6通り  $\therefore 3 \times 6 = 18$  通り  
であるから、 $4+15+18+18=55$  通り。  $\therefore p_4 = \frac{55}{6^4}$

(5回目で上り) 1回目  $a$ , 2回目  $b$ , 3回目  $c$ , 4回目  $d$ , 5回目  $e$  とすると、 $1 \leq a + b + c + d \leq 5$ ,  
 $a + b + c + d + e \geq 6$  となる  $(a, b, c, d, e)$  の組は、  
 $a, b, c, d$  の目  $\{1, 1, 1, 1\}$  のとき、 $e \geq 2$  より、5通り  
 $a, b, c, d$  の目  $\{1, 1, 1, 2\}$  のとき、 $e \geq 1$  より、6通り  $\therefore 4 \times 6 = 24$  通り  
であるから、 $5+24=29$  通り。  $\therefore p_5 = \frac{29}{6^5}$

(6回目で上り) 1回目  $a$ , 2回目  $b$ , 3回目  $c$ , 4回目  $d$ , 5回目  $e$ , 6回目  $f$  とすると、  
 $1 \leq a + b + c + d + e \leq 5$ ,  $a + b + c + d + e + f \geq 6$  となる  $(a, b, c, d, e, f)$  の組は、  
 $a, b, c, d, e$  の目  $\{1, 1, 1, 1, 1\}$  のとき、 $f \geq 1$  より、6通りであるから、 $\therefore p_6 = \frac{6}{6^6} = \frac{1}{6^5}$

よって,

$$\begin{aligned} E &= 1 \cdot \frac{1}{6} + 2 \cdot \frac{20}{6^2} + 3 \cdot \frac{50}{6^3} + 4 \cdot \frac{55}{6^4} + 5 \cdot \frac{29}{6^5} + 6 \cdot \frac{1}{6^5} = \frac{6+40+25}{6^2} + \frac{220 \cdot 6 + 145 + 6}{6^5} = \frac{71}{6^2} + \frac{1471}{6^5} \\ &= \frac{16807}{6^5} = \frac{16807}{7776} (\approx 2.16) \quad \text{答} \end{aligned}$$

補足  $E = \left(\frac{7}{6}\right)^5$

(2024/3/31 ジョーカー)